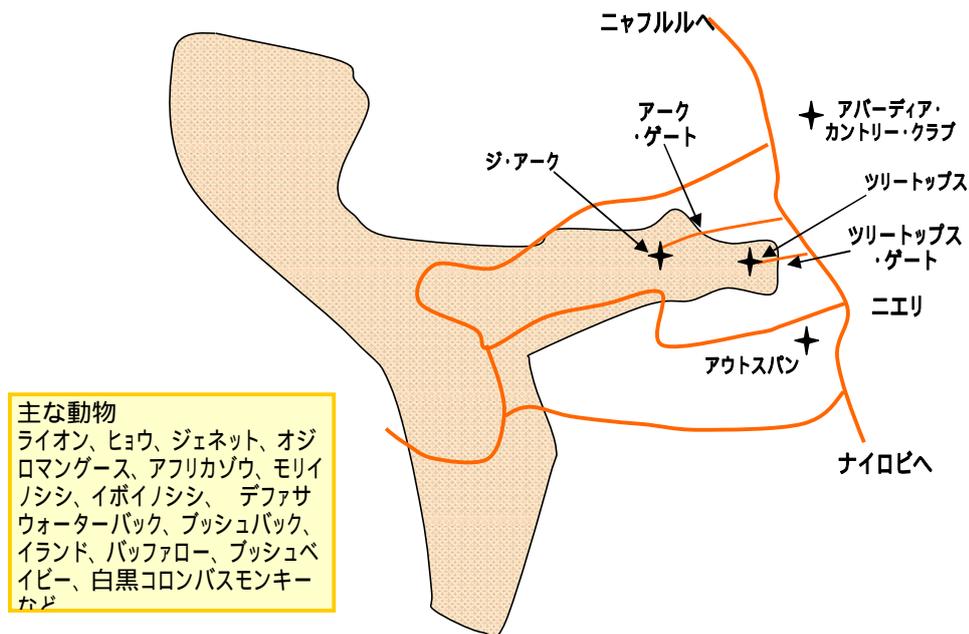


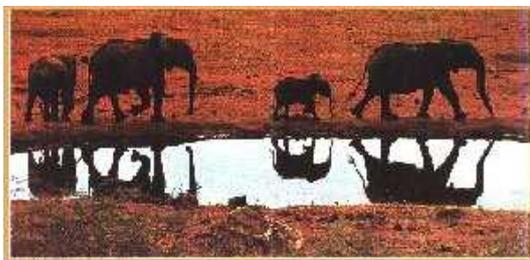
アバーディア国立公園



主な動物
 ライオン、ヒョウ、ジェネット、オジロマンゲース、アフリカゾウ、モリイノシシ、イボイノシシ、デファサウォーターバック、ブッシュバック、イランド、バッファロー、ブッシュベイビー、白黒コロンバモンキーなど

ナイロビの北約180Km(車で約3時間)の所に位置する。アバーディア山脈に囲まれ、サバンナの国立公園が多いケニアでは珍しいうっそうたる森林の国立公園。 サバンナではあまり見ることの出来ない森林性の動物(ヒョウ、ブッシュバックなど)や夜行性の動物を、ロッジに居ながらにして見ることが出来るのが大きな特徴。各ロッジの前に水場と塩場が設置されているので、そこに動物が集まってくるのだ。

この国立公園のロッジは、いったんベースホテルに入り、スーツケース等を預けた後、ホテルの車に乗り換え、各ロッジに宿泊分の荷物を持って入る仕組み。



= ロッジ =
 ツリートップス

全てが木造で、高い木の柱の上に建つロッジ。夜はテラスからライトで照らされた動物たちをゆっくり眺めることが出来る。1952年、エリザベス女王が王女時代このロッジに滞在中、父国王が亡くなられ、この地で女王となったことで一躍有名になった。共同トイレ・シャワー。7歳以下は宿泊不可。アウトスパンがベースホテル。



ジ・アーク

近代的な感じのする高床式ロッジ。もともと動物研究課が木上に設けた観察小屋が次第に発展して観光客用のロッジとなった。サービス、食事とも充実している。前庭に池があり、近づく動物を見ることが出来る。7歳以下は宿泊不可。アバーディアカントリークラブがベースホテル。

